

2021年11月18日

第10回農業女子プロジェクト推進会議

活動の実際と今後の展望

～女性農業者が繋がることで経営も地域も元気に～



発表者 結城こずえ

やまがた農業女子ネットワーク（あぐっと）コアメンバー

やまがた農業女子ネットワーク（あぐっと）とは？



女性農業者自身が声を上げ有志で立ち上げた、地域の任意団体です。

「農業女子プロジェクト」の山形県在住メンバーが中心となり設立された山形県内の女性農業者で組織する地域グループです。自らの意識改革・経営発展、女性農業者の存在感向上、職業として農業を選択する若手女性の増加等への貢献を目的としています。

- 2019年2月 やまがた農業女子ネットワーク設立
- 会員数：発足時31名→52名在籍 ※2021年11月現在
- 活動原資：年会費1,800円＋各種助成金補助金やプランナー派遣制度等の活用
- コアメンバー制
- ツール：インスタグラム（公式）・FB（公式）・FB（グループ）・Slack・Line

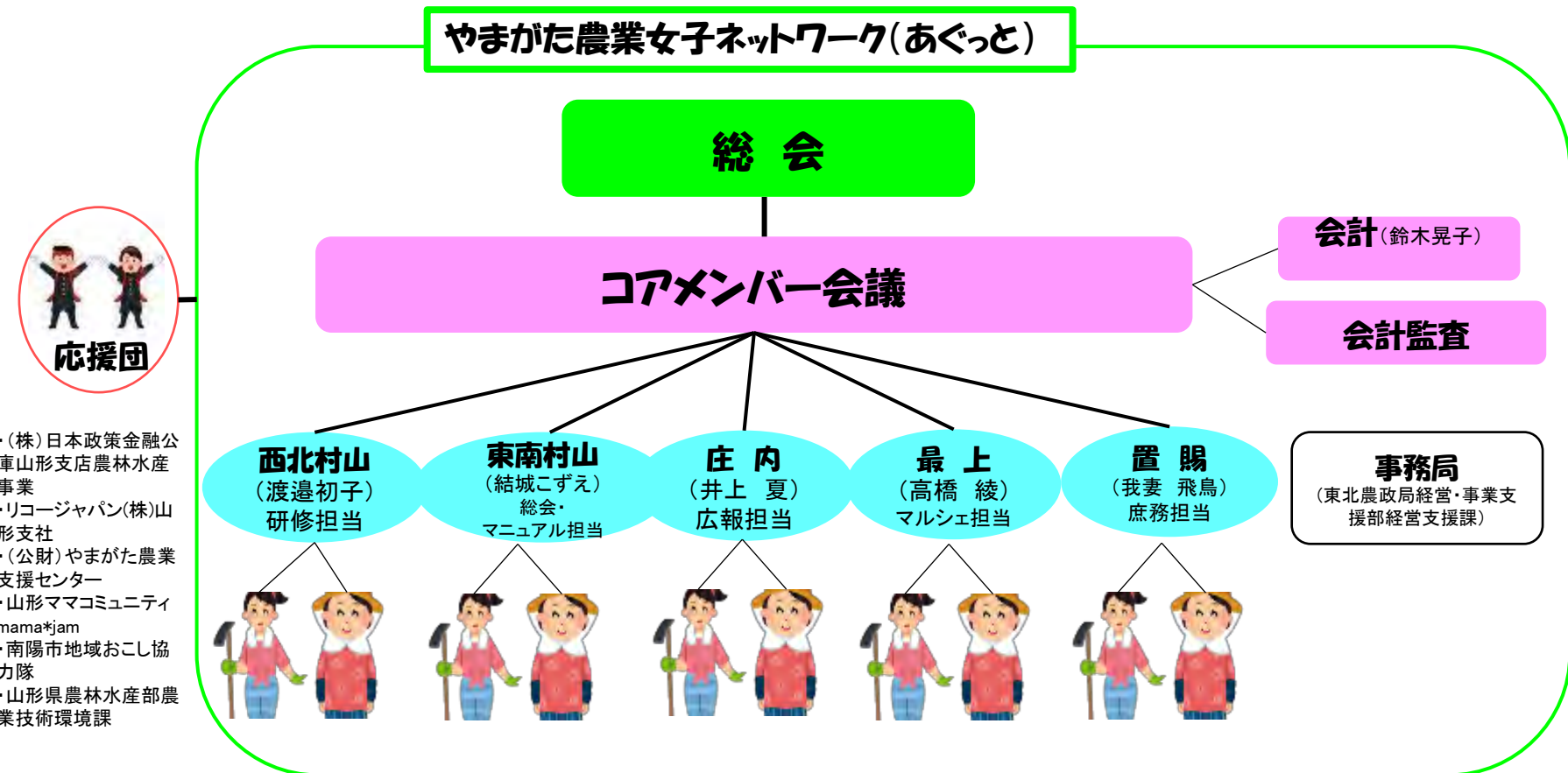
<ネットワーク発足の背景>

- ・女性農業者の職業的繋がりが乏しい
- ・女性農業者に有益な情報が届きにくい
- ・継続的に女性農業者が学び交流できる場がほとんどない
- ・女性には伝統的な制約が多い



【参考】

やまがた農業女子ネットワーク 組織図 (令和3年度)



令和3年6月30日現在 やまがた農業女子ネットワーク事務局作成



Woman's
agriculture network
agood
yamagata

あぐっと。
ひろがる、
つながる、



ファーマーズ ミートアップ
**FARMERS
MEETUP**

庄内・置上・村山・置賜エリアに分かれ
交流会や勉強会を開催しています。

やまがた農業女子ネットワーク

あぐっとメンバー募集!

一緒に活動しませんか? くわしくは裏面へ



あぐっと
繋がる

出会いは一生の宝

県内の農業者と繋がろう!

農業に携わっている方であればどなたでも参加OKです。
農家のお母さん、退職者、新規就農者等、経験や年齢は問いません。身近に縁のつながりができる。いつでも「話し相手」や「相談」できる安心感。農業をするうえで「ここもよりのところ」も見つけられるでしょう。



あぐっと
実践する

「一歩踏み出す」ことから
広がる新たな世界

あぐっとでは、月に1回の情報発信やメンバー間の情報交換
を行っています。直接販売に興味がある方は、マルシェ出店
など挑戦する機会もあります。人との出会いや様々な情報から、
一歩踏み出す機会も多くなることでしょう。



女性農業者の輪が広がっています

やまがた農業女子ネットワーク「agood」は、農林水産省が推進する農
業女子プロジェクト「アグリー」を中心に運営しています。女性農業者も自
ら山や川や田舎で遊ぶ場所が少ないという地から目を凝らしました。県内の
女性農業者が、情報交換し、交流し合いながら、それぞれの課題の注
文書上を目指します。また、県民に近く農業を体験することで、地域振
興活性化も目指しています。



あぐっと
学べる

課題の解決から、
より良い農業を
実現するヒントまで

農業をする仲間との出会いにより、
あぐっとで「あぐっと」が実現する目標
はありながらも、まっ、目的の異
味があることを聞き取り、それをもと
に研修や講演を開催しています。
「アグリー」は、農業女子ネットワーク
立ち上げの目的、目的の達成。



やまがた農業女子ネットワーク

あぐっとメンバー募集!



左記のQRコードから
ホームページにアクセス!
お気軽にご登録ください。

お気軽にお問い合わせください



やまがた農業女子
ネットワーク「あぐっと」



農業女子P
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

事務局・問い合わせ 東北農政局 経営・事業支援部 経営支援課 〒980-0114 宮城県仙台市青葉区大森1-7-11
TEL.022-221-6217 FAX.022-722-7378 agood-yamagata.net

ネットワーク活動の実際

全体交流会・研修会の実施 (年に1~2回程度)

やまがた農業女子ネットワーク

オンライン交流会

ZOOM 飲み会&カフェ ~メンバーの話を聞きながら~

2020年12月19日 (土) 19:00~21:00

申込券締め切り 12月18日 (金) 17:00迄

お気に入りのドリンク・アルコール、おつまみも片手にお気軽にご参加ください。
あぐっとメンバーより4名のスピーカーをお迎えします!
遠くからの参加・遠出もOKです!お話を聞いていろいろ学びましょう!

トークテーマ	参加方法
<p>* 子供に農業を継がせるには!?</p> <p>* ブランディング</p> <p>* 6次産業化</p> <p>* あぐっとに入会してみよう</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「オンライン交流会 参加希望」と明記のうえメールにてご連絡下さい。 後日、参加URLのメールが届きます。 参加URLにアクセスしてZoomを起動してご参加下さい。 <p>※事前に、郵送で資料が送られてきますので、そちらをご用意の上ご参加下さい。 ※ご不明な点はお問合せください。 (結城TEL 090-7073-2609)</p>

～お問い合わせ～

やまがた農業女子ネットワーク 担当 結城 結城

MAIL: yamagata.noujo@gmail.com

あぐっと交流会 スピーカー紹介

<p>遠藤紀江さん 遠藤南大森農園 (肉用牛・おとめ鶏・おさくさん・秋田スシ・野菜周年栽培・中江・そば)</p> <p>結婚時期に農業を手伝うようになった。本音は息子に継がせたくもなかった。たのしみながらそれを伝えているのがおもしろい。</p> <p>講和のテーマ 「息子に継がせるには!」</p>	<p>中川由貴さん 株式会社 中川農園 (おくらんぼりんご・ウチワナス・里芋)</p> <p>宮城県立大学社会福祉学部卒業後、地元秋田県秋田市の福祉・社会に就く。結婚を機に自営から、2019年9月に株式会社を創設するのを機に秋田県産「アズチン」プロジェクトの一員として、アグロツーリズムを推進。</p> <p>講和のテーマ 「中川農園のブランドをどう育てるか -農業にできることについて」</p>
<p>漆山陽子さん 漆山農園 (おくら、おくら、きつね、野菜)</p> <p>子供の頃から、農業を手伝っていた。だが高校卒業後、同社に12年勤め社員として正式に就任。農家である主人も会社員としての就業・農家の収入も高かった。</p> <p>講和のテーマ 「6次産業化の体験談」</p>	<p>新田祥子さん 株式会社 最上真直川新田農園 (水稲・ミニトマト・ほうろく・果・イベント・自菜・大根)</p> <p>専業農家の3姉妹の次女に生まれ、大卒卒業後地元秋田県に帰郷し、2004年秋田県立大学に就学。秋田県から2017年に10月と2018年の仕事で秋田県に就いた。</p> <p>講和のテーマ 「あぐっとに参加して」</p>

とるさんの参加をお待ちしています!

TEL: [090-7073-2609](tel:090-7073-2609)

全体での活動例②



チームはぐくみ 山形大学農学部×農業女子

農業女子による講演&学生とのワークショップ



全体での活動例 ③

あぐっと応援団 mama*jam様との取り組み



「畑のフードロス削減の取組み」

- 応援団のmama*jam様（会員500名 山形県内最大のママ組織）と連携
- あぐっとメンバーの農園で、余剰、廃棄寸前の農産物が出る際、mama*jam様にSNSでお知らせし、格安で軒先販売を行っている。



（写真）株式会社 最上真室川新田農園 新田祥子さんとmama*jam様の取引きより

令和2年度より

全体での活動は継続しつつ「エリア活動」と「オンライン」に軸足をシフト。
自分たちがしたいこと、学びたいことを自分達で企画し実行していくことを推進。



- メリット ①参加しやすい環境 ②地域それぞれの課題、特色を踏まえたニーズにあった活動の展開が可能
③メンバーに対して、より多くの交流や学ぶ機会の提供が可能（他エリアの企画に参加可能）

エリア活動の例（最上エリア）



地域創生についての勉強会

一般社団法人最上のくらし舎代表理事の吉野優美氏による講和



SDGs研修 協力（株）リコー山形支社様（あぐっと応援団）



地元マルシェ出店 (kitokitoマルシェ)

エリア活動の例（東南村山エリア）



山形県園芸農業研究所 果樹栽培視察研修



合同SDG s 基礎研修



紫外線 シミ・しわ対策講座（オンライン）
協力 エステサロン デジョア様

その他

- ・顔合わせ会（オンライン）
- ・先進的な循環型農業を実践されている農家（遠藤ファーム様）を招いての研修会（オンライン）

エリア活動の例（西北村山エリア）



エリア交流会



人生100年時代に備えるお金の勉強会
(ファイナンシャルプランナーをお迎えして)



山形県村山産業高校×あぐっと
コラボ企画に向けた打ち合わせ



AGRI BATON PROJECT 全国リレーin山形¹²

エリア活動の例（置賜エリア）



エリア交流会



置賜メンバー主催のマルシェ



写真の撮り方講座



農機研修

普及課に自分たちが興味のあるトピックを随時伝えることで、研修実施に繋がることもある。

エリア活動の例（庄内エリア）



エリア交流会



新規就農者獲得ビデオ作成
（山形県の支援事業を活用）



メンバーの圃場に視察研修（柿栽培・いちじく栽培）

今後の課題および展開



▷重要「継続してネットワークを維持していくこと」

- ・ 農業・家事・育児・介護と忙しい年代の女性農業者が運営できる工夫をしていく必要がある。

▷今後の展開

- ・ 地域・行政・各種団体等と連携し、叶えたい未来に向けて力を合わせ「自分達で」実行していこう。
- ・ 持続可能な社会の実現のために、あぐっと（女性農業者の団体）として何ができるのか？模索し実行していこう。

